

どなた様にも初めまして今日は。waccaと申します。

ハリーとシリウスの2人を中心に、ちらちらとラクガキを日記に上げたりしています。

■この本について■

何故か横書きなので、コマは左→右にお読みください。

筆者は日本語版を読んでいません。(ー；

ので、固有名詞などはテキストにカタカナだったり日本語になったりしています。

判りづらい部分もあるかと思いますが、ご容赦くださいませ。

それでは、少しの間でもお楽しみいただければ幸いです。

小学生以下のみなさんへ。

この本は、同性愛表現の好きな大人向けに
作られており、「ハリー・ポッター」の原作とは
大きくちがう部分がたくさんあります。また、
12才以下の方と、趣旨をご理解いただけな
い方には残念ですがお見せできません。

もしまちがって手にとられた場合は、この先
は読まないでください。

13才以上で、「同人的要素」をご理解いただ
ける方のみ、次のページへお進みください。



EARLY GRAVES



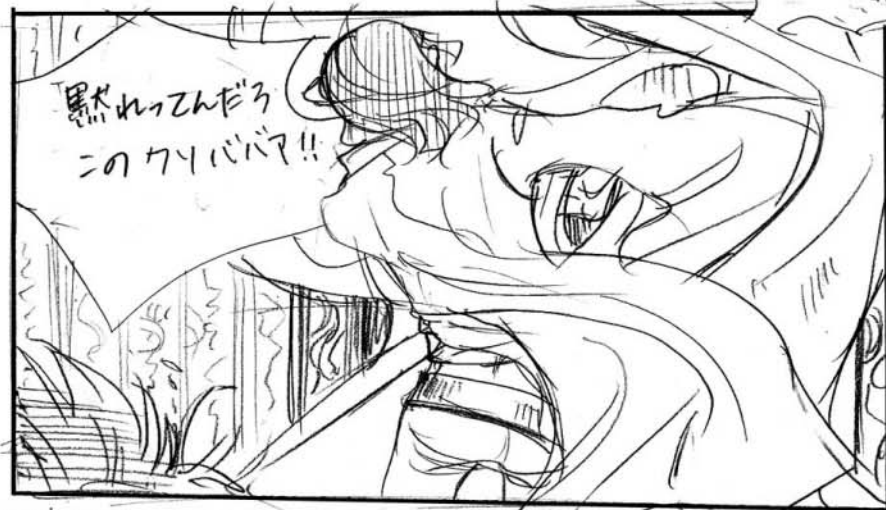
wacca

3

凶魔場シーン。凶



4





ハリーとルナ。
5巻の終わりで、ハリーのお相手はルナになるのかな？と思いましたけどどうなんですよ。
個人的には、(最有力候補？)のジニーよりは、ルナになって欲しいです。

ただ一緒にいるだけでいい、みたいな関係がいいなあ。と思います。

「ファンはこう見る！」あるいはアンチテーゼ

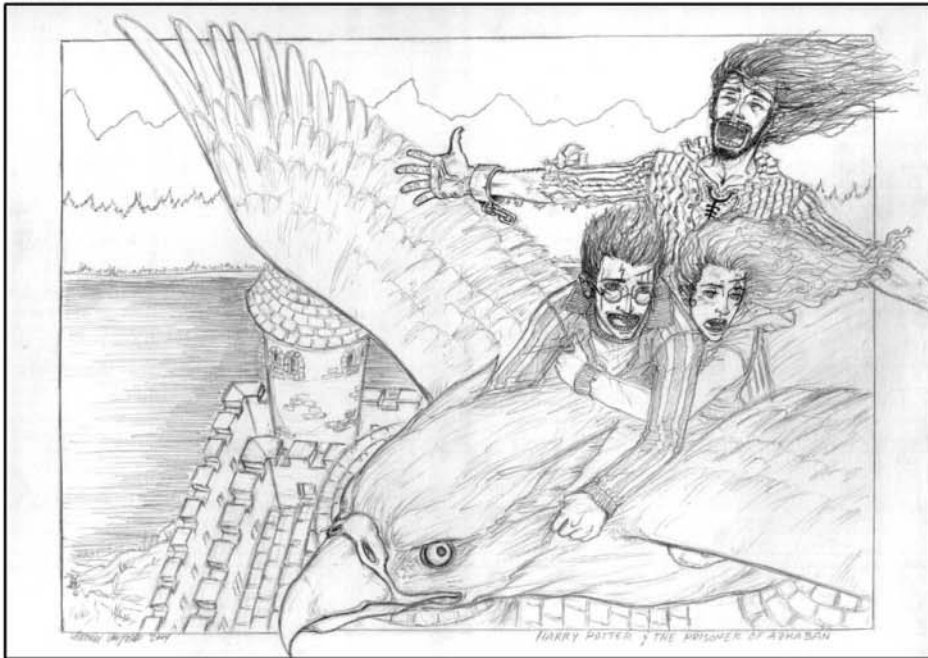




fin♡



■イタダキモノ其の1■



あーアップでお見せできないのが残念！
Hiromiちゃんに描いていただいた、POAの
救出シーンと、シリウスとハリーです。
迷った挙句、両方載せてしまいました。

ドラ×ハーがお好きなんですけど、無理言っ
て色々描いてもらってます。(^-^)

彼女はこの超絶技巧ぶりで高校生さん。(！)
「才能に恵まれた」ってこの事ですね……。
何と云うか、彼女の右手が欲しい。

是非是非、他の作品もご覧になって下さい。

■ Hiromi (marmaduke)

ギャラリー(英語):
<http://marmaduke.deviantart.com/>

ブログ(Livejournal、英語):
<http://www.livejournal.com/users/marmaduke01/>



ルシウスがドラコをスケッチする……という設定の
エロ落書きシリーズの、最後の1枚にあたるもの。
アズカバンに入れられたルシウスに面会に訪れたドラコ。
他のはもっと荒いですが、これはルシウスの記憶なので
スケッチっぽくないです。とか何とか。
昼休みに職場の食堂で描きました。





■イタダキモノ 其の2 ■

ハリ×ドラノドラ・ハリがお好きなDuckpuppy嬢より、
 美麗な2人をもぎ取りました！
 もっと華麗なカラー版もあるのですが、今回はコピー本
 なので、モノクロの方を。無念。

他にも色々、ネットの方で素晴らしい絵描きさん達から
 戴いているのでご紹介したかったのですが、カラーが
 多いので断念しました(T_T
 はっ、サイトのイタダキモノ置き場を更新せねば……。

■ Duckpuppy

サイト: "yoflam" (英語)
<http://yoflam.wickedcherub.net/>





ハリー。

お願いだから私を
見ないでくれ

その真っ直ぐで、
怒りと焦燥と
不安に満ちた——

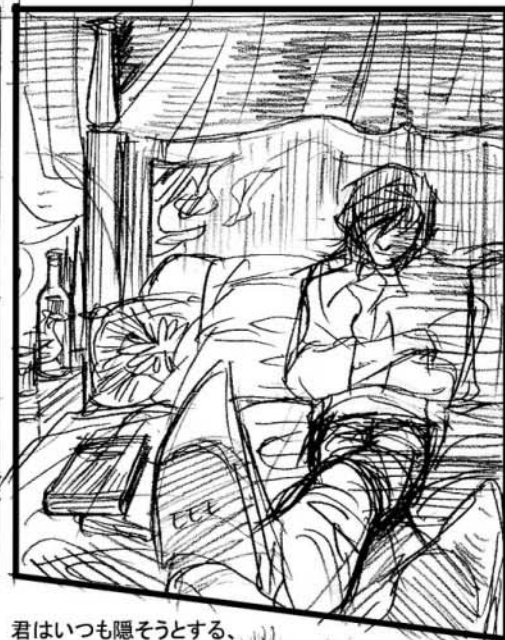
あまりにも
鮮やかな瞳で

EARLY GRAVES

WACCA 04

私の眼はもう
死んだようになって
御影石のようにただ
冷たく映すだけで
君のその瞳の奥の
繊細というには生々しい感情を
受け留められるか

不安なんだ



君はいつも隠そうとする、
何か言おうとして
口唇の手前でやめてしまう。
自分独りで全てを背負おうとする。



でもその完璧な弧を描く目元と
強く結ばれた口元は
余りにも雄弁に物語っていて
私はもう、
全てを聞いてしまったようになる



それでも私は君の自尊心を傷つけたくなくて、
黙ってしまう

私は君を見つめる
躊躇いの後にやっぱり
打ち明けてくれるんじゃないかと

君はそんな私の視線に気付く
驚いたように
安心したように

ああもう私は、どんなに君の瞳が
リリイのそれと違っているか、
どんなに君の面影が
ジェイムズと違ってきちゃっているか
——どんなに君が君であるか、
全て見分けられるんだ

なぜって

君が好きなんだ

君が好きなんだ。

でも私は君のホゴシヤで
私は彼等と約束して.....

ハリー。
お願いだから私を責めないでくれ
君の気持ちに応えられない私を

私はあの、
濡れ光る腐った苔に覆われた壁と、
饅えた血よりも尖った鉄鎖の臭いと
重い海の霧に乗って肺に忍び込む
死の影さえも、
君の為には耐えられても

君のその瞳には
耐えられないんだ

ハリー。
もう少し、もう少しだけ待って
君が大人になるまで

ジェームズ、リリー、ごめん

ぼくはもう決めてしまった

あとほんの少し、
私達が離れ離れに過ごしてきた年月に比べたらもう少しだから

ぼくはもう この子のも
もの凄く 甘やかしてしまうよ

時の流れは今迄の何倍にも
遅く感じられるけれど

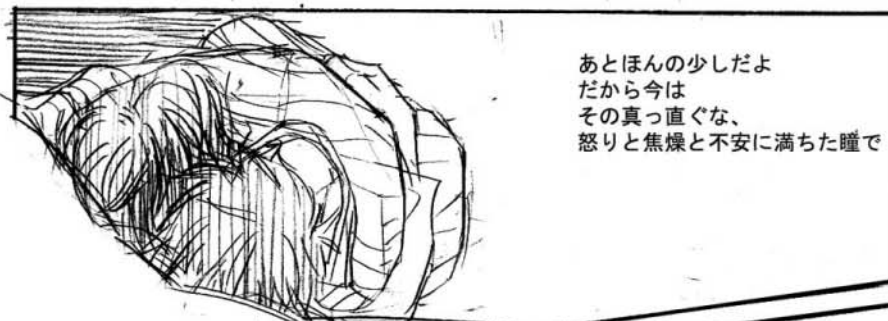
ぼくのやらかい部分を
全部 この子にあげる

ぼくらのハリーに。

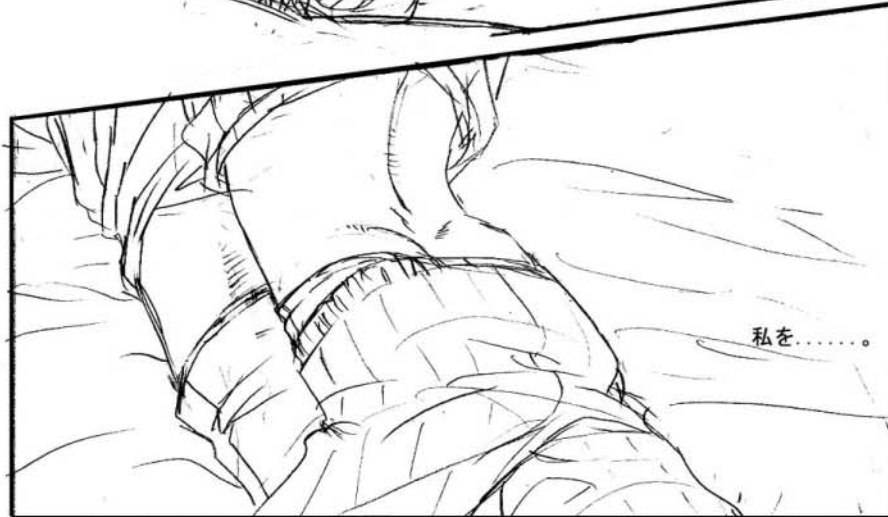
あの遺産をはたいた家を買戻そう
ふたりだけで一緒に暮らそう



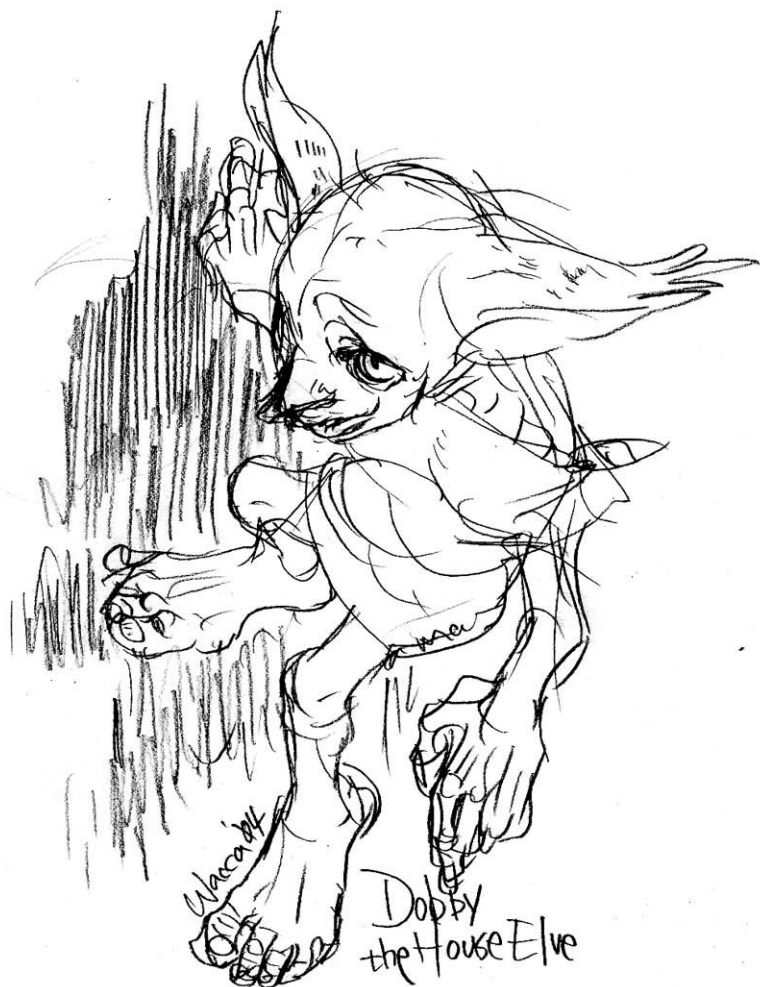
ハリー。



あとほんの少しだよ
だから今は
その真っ直ぐな、
怒りと焦燥と不安に満ちた瞳で



私を.....



Wacca

Dobby
the House Elf



イタタキモ！ 其の3!! (15)
15年来のツレ・光義殿に
イベント前に泊めて貰った
上に強要して描かせました
お願いして描いて貰いました♡
有難う〜!! 相変わらず
アタタはスゴイ。

「愛」を込めて♡

Waccaへ
君の為なら
何でも描くさ!

紫の菊の人
佐竹 光義

あとがき..... というか途中書き

■勢いで本を作ることにしたものの、結局何をしかったのかよく判らなくなってしまいましたが、何とか形になりそうでほっとしています。

■今回、改めて5巻を部分的に(註:ハリーとシリウスが絡む部分)読み返したりしたのですが、何かもう自分の中で色々煮詰まっちゃっていて、ハリーとシリウスは作者公認とか(笑)

というか、「家庭」に恵まれないで育った2人が、初めて本当の家族らしきものを持ったせいで、お互いに入れ込みすぎて周りに迷惑をかけてる感じが、すごいばかで、いいなあと思います。

■シリウスは、6巻以降も何かの形で出てくるみたいですが、これまでみたいなのはタレ犬ぶりが見られなくなるのは、本当にさびしいです。3巻の最後の「もしよかったらけど……」の場面以降、2人の仲良しさんぶりを楽しみに読むようになってしまったので、6巻以降は楽しめるのかなあという変な不安があったり。

■補足トリビア■

日本全国に配布されたハリー・ポッターは1県平均10tトラック10台分。(ちなみにジャンプは1週分1.5t1台。)書店副店長の知人がキレてたとか。

■左下のは、サイトからの流用ですが、スネイプ氏。本を読んでいる間は嫌いなキャラです。原作を読むときはハリーの視点になってしまうので、スリザリンご一同様とか、ハリーが(作中で)嫌っているキャラは、好きになれません。でも一旦読み終えると、2番目くらいに好きです。(笑) 1番はシリウス。



■ここまでお読み下さって有難うございました！
またこういった形でお会いできるか判りませんが、
ネットの方でポチポチやってますので、のぞいて
いただければ幸いです。

2004年9月20日 wacca 拝



EARLY GRAVES

発行人:wacca

発行日:2004年9月20日 於:MAGICALDIA

<http://www.geocities.com/wacca2x4/>

wacca2x4@yahoo.com

■オトナ絵はコチラ。

<http://www.geocities.com/wacca2x4/perv/perv.html>

■頻繁にアップするラクガキはコチラの日記へ。ヘタレ英語で書いてますが、日本語レス大歓迎です。

<http://www.livejournal.com/users/waccawheels/>

Disclaimer : Harry Potter and the characters belong to J.K.Rowling and Warner Bros.

No money made.